

相模原市内の緑化・保全活動等の協力団体や
市民ボランティアの皆さんを対象とした研修会を開催

深町貴子先生 講演会 『向日葵に込めた想い』



主催者(まち・みどり公社理事長・橋本真由美)から日頃の緑化活動等へのご参加とご協力に感謝の意が述べられました

後援：相模原市

「私の仕事は野菜を育てることではないんです。
人の心に種をまくことなんです。」

去る2月20日(木)、相模原市の森・緑地や公園等で緑化・保全活動を行う「みどりのボランティア」の方々を対象とした研修会を開催いたしました。今回はNHK(ETV)趣味の園芸など各種メディアでも著名な園芸家「深町貴子さん」に「**向日葵に込めた想い～一粒のタネから広がる物語～**」と題し、ご講演いただきました。

深町さんは「まちなか向日葵しぼり隊」プロジェクトを推進しており、種から植物を育てていくことのすばらしさをお話してくださいました。



ひまわりの油

ひまわりの芽、タネ

花が咲き虫を呼び、その虫が受粉を助け種ができ、種から油を搾り人の生活が豊かになる。ひまわり油の原材料の多くはウクライナで作られているとの話も交え、向日葵を育てることは緑化につながり、環境保全にもなるとの想いも語られていました。

「種をまけば未来がかわる。」
そしてお話は冒頭の言葉で締めくくられました。その言葉が印象に残る素敵な講演会でした。

発行：公益財団法人相模原市まち・みどり公社

みどり推進課 TEL 042-751-6624(直通) FAX 042-751-2345

<http://www.sagamiharashi-machimidori.or.jp/>

相模原市中央区富士見6丁目6番23号(けやき会館内)

